

JIP2010 における労働データの推計方法の変更点

JIP2010 労働データの推計において、以下の各点について変更を行った。

1. フルタイム労働者のベンチマーク労働時間にパートタイム労働者の労働時間が含まれていたため、フルタイム労働者のベンチマーク労働時間が過小に推計されていた点を修正。
2. 自営業主の労働コスト計算における無給家族従業者の扱いを修正。
JIP2009: 先に家族従業者も自営業主と同等の労働コストと見なして自営業主労働コストを推計し、後から家族従業者の無給分を控除して推計。
JIP2010: はじめから自営業主の所得に家族従業者の無給分が含まれていることを考慮して、自営業主労働コストを推計。
3. SNA 就業者数との整合性について、JIP2009 では就業者数（自営業主＋雇用者）レベルで SNA と一致するように調整を行っていたが、JIP2010 では自営業主、雇用者各々のレベルで SNA と一致するように調整した。
4. 産業ベースからアクティビティベースへの変換に利用する V 表を、労働班独自のものから産業連関表班作成のものへ変更。
5. アクティビティベースへの変換作業において、JIP2009 では名目 V 表のみを利用していましたが、JIP2010 では従業者数・マンアワーについては実質 V 表、労働コストについては名目 V 表を利用した。
6. 1 人当たり雇用者所得の部門間格差について、JIP2009 では以下のような産業連関表雇用表の情報を利用していた。
 - ・ 1970 年、1975 年は各年 IO の雇用表、1980-2000 年は RIETI 長期接続連関表の雇用表JIP2010 では以下のように変更。
 - ・ 1970-1975-1980 年接続 IO の雇用表と 1980-2000 年 RIETI 長期接続連関表の雇用表を 1980 年でリンクさせたものと、1995-2000-2005 年接続 IO 雇用表を 2000 年でリンク。